

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成21年3月24日（火） 午後1時30分～4時00分

2. 場 所：石川県庁11階1102会議室

3. 出席者：23名（名称略）、事務局、説明者他

4. 議事概要

(1) 志賀原子力発電所1号機 臨界事故に係る再発防止対策について、北陸電力及び原子力安全・保安院から説明があった。

（委員）北陸電力が2年間にわたって行ってきた再発防止対策は評価できる。今後は、この取組みを風化させないことが大事だ。信頼を二度と失うことが無いよう取り組んで欲しい。

（委員）技術的な再発防災対策で、制御棒駆動機構の弁の操作は今までと同じように1人で行うのか、それとも複数の人で行うのか。

（電力）後ろに人が付いて確認を行う。

(2) 志賀原子力発電所1号機 特別な検査について、北陸電力及び原子力安全・保安院から説明があった。

(3) 志賀原子力発電所の耐震安全性について、北陸電力及び原子力安全・保安院から説明があった。

（委員）現在の科学で考え得る耐震の検討、対策が行われていることは理解できた。これで絶対であるというような奢った気持ちを持つことなく、今後も新しい知見を取り入れ、検討して行って欲しい。

（保安院）今後も新しい知見が得られた場合、安全性に反映することをしっかりと続けていきたい。

（委員）現状で耐震安全性は確保されていることは理解できた。建設にあたり、様々な不確かさを考慮していると思うが、どのように取り組んでいるのか。

（電力）設計段階、建設段階において、いろいろな不確かさを考慮し、沢山の余裕を積み重ねて安全性の確保を図っている。

（委員）北陸電力のSSについては、2つのセグメントをつないで長い断層にするなど非常に評価できると思う。保安院が行った海洋調査は貴重なデータになると思うが、結果が全て出るのはいつ頃になりそうか。

（保安院）評価には大変時間がかかり、今の段階では見通しを出せるような状況ではない。

(4) 志賀原子力発電所 1号機の再起動について、以下の意見をいただき、「異議なし」ということでとりまとめた。

(委員) 再発防止対策については、技術的には十分行われている。耐震安全性についても十分な対策が取られている。1号機の再起動についての安全性、体制は十分整っている。

(委員) 再発防止対策のひたむきな取り組みについては、評価する。町の議会でも再起動については異論はないとされた。今後、町の方で、会議等を予定しており、町民の意見を聞き、再起動について判断していく。

(5) 志賀原子力発電所の運転状況等について、北陸電力から説明があった。

(6) 志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成20年度第3報)、志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成20年度夏季)、志賀原子力発電所周辺環境放射線監視年度計画(案)(平成21年度)、志賀原子力発電所温排水影響調査年度計画(案)(平成21年度)について、事務局から説明があった。

(7) 平成20年度第3四半期保安検査結果について、原子力安全・保安院志賀原子力保安検査官事務所から説明があった。

(8) 事務局より、前回の議事概要について、ホームページに掲載している旨、報告があった。

－ 以 上 －